

自治体名	基本方針	策定年度
調布市	<p>基本的な考え方 『ごみの発生抑制を最優先とし、資源循環型社会の構築を目指す』</p> <p>キャッチフレーズ 継続宣言！ ごみ減量・リサイクル ～笑顔でつくる明るい未来～</p> <p>基本方針1 家庭系ごみの削減 基本方針2 さらなるリサイクルの推進 基本方針3 適正かつ安定的な処理の確保</p>	H25.3
国立市	<p>計画副題 ～多摩地域のトップランナーをめざして～</p> <p>〇くにたちECOプロジェクト(5R)の推進 ①発生抑制、②再使用、③直す、④戻す、⑤再生利用 〇事業系ごみの減量とリサイクルの推進 〇循環型社会づくり・低炭素社会づくり 〇安全かつ安定的な処理、処分 〇制度、施策の充実等</p>	H28.4
日野市	<p>計画副題 ～ごみゼロ社会を目指して～</p> <p>基本的な考え方 (1)地球温暖化対策とCO2削減 ごみゼロ活動によって温暖化をはじめとする、地球環境問題への対応を図ります。 (2)「第2のごみ改革」へ 第2のごみ改革宣言！～原点にたちかえり更なる減量～ (3)4Rの推進 リフューズ・リデュース・リユース・リサイクルの4Rに取り組みます。 (4)市民・事業者・行政の連携と協働 市民・事業者・行政がそれぞれの役割を果たすと同時に、連携し、協力し合ってごみゼロ社会を目指します。</p>	H21.6
稲城市	<p>基本理念 4R+1の推進による循環型まちづくり</p> <p>循環型社会をめざし、4R(Refuse、Reduce、Reuse、Recycle)の取り組みを、市民・自治会、事業者、教育機関、関連団体と行政の協働(Cooperation)により、それぞれの立場で知恵を出し合い、着実に進めていきます。</p>	H26.3
多摩市	<p>基本理念 協働の力で環境負荷の少ない循環型のまち 多摩を構築する</p> <p>循環型社会における取り組みの優先順位(リデュース→リユース→リサイクル)にリフューズ(ごみになりそうなものは断る)を加えた4Rの考え方を実現するものとし、そのプロセスにおいては計画を推進する主体となる市民・事業者・市の協働によることとします。</p> <p>基本方針 1. 発生抑制・排出抑制:製品等がごみとなることを抑制する 2. 資源化:排出されたごみ等をできるだけ資源として適切に利用する 3. 適正処分:どうしても資源として利用できないものは適正に処分する 4. 協働の取り組み:市民・事業者・市が協働した取り組みを行う</p>	H25.3
国分寺市	<p>さらなる ごみの減量・資源化を推進する(アクションプランより)</p> <p>ごみ処理に関する環境も大きく変わる中、アクションプランに示された施策を推進し、先を見据えてごみの減量・資源化を進めるとともに、ごみの発生抑制、資源の循環を基本としたまちづくりを実現することを目的とします。</p>	H26.4改
小金井市	<p>計画副題 目指す将来像 循環型都市小金井の形成 ～ごみゼロタウン小金井を～</p> <p>基本方針 1. 発生抑制を最優先とした3Rの推進 2. 安心・安全・安定的な適正処理の推進</p>	H27.3